

紫尾山山頂付近の植物図鑑

Plants around summit of Mt. Shibi, Kagoshima

鹿児島大学総合研究博物館

第16回自然体験ツアー

2016年7月31日

鈴木英治

Kagoshima University Museum

Eizi Suzuki

はじめに

- この図鑑は、出水市とさつま町の堺にあり標高1067mの紫尾山山頂付近標高千m前後 ([地図参照](#)) で見られる樹木や草52種について、写真で説明したものです。
- 植物の基本的な形で分けてあります ([形の意味](#)は7ページに)。
([青い文字をクリックすると、そのページに移動します。](#))
- 種別の説明は下のグループ別に、8~59ページにあり、グループ内では、およそ葉の小さい種から大きい種へ並んでいます。写真の中にあるスケールは5cmまたは1cm(黒い棒)です。上下に2枚の葉の写真がある場合には、上が葉の裏、下が表です。
- 60ページ以下に、[和名順\(学名付\)](#)、科別の種名リストがあります。

	落葉・常緑	葉のつき方	葉の縁	種数
樹	落葉	対生	鋸歯	8種
	落葉	対生	全縁	2種
	落葉	互生	鋸歯	9種
	落葉	互生	全縁	6種
	常緑	対生	鋸歯	なし
	常緑	対生	全縁	なし
	常緑	互生	鋸歯	6種
	常緑	互生	全縁	4種
	針葉樹			2種
	ツル植物			7種
草	草本			5種
	シダ植物			3種

検索1

落葉	対生	鋸歯	
----	----	----	--

↓ (高さは最大この程度になるという意味で、より小さい幼木もあります)

	種名	高さ	目立つ特徴
1	コガクウツギ	1m	葉に光沢
2	オトコヨウゾメ	3	広葉。脈が直線的
3	コアカソ	1	高さ1mほど。葉柄が長く赤い
4	マユミ	3	無毛、枝が緑
5	ムラサキシキブ	3	短い毛がある。
6	ハマクサギ	5	大きな鋸歯。ちぎると臭い
7	コハウチワカエデ	5	7-11に裂ける
8	ウリハダカエデ	5	3裂

落葉	対生	全縁	
----	----	----	--

9	キガンピ	1	円い葉。高さ50cmほど
10	ヤマボウシ	5	カーブした葉脈

検索2

落葉	互生	鋸齒	
----	----	----	--

11	カマツカ	5	細かな鋸齒が多数
12	エゴノキ	5	荒い鋸齒が少し
13	ブナ	20	波打つような鋸齒
14	タンナワワフタギ	5	先に向かって曲がった鋸齒
15	アカシデ	10	毛が少ない
16	イヌシデ	10	毛が多い
17	クマンシデ	10	側脈が20対以上
18	ヤマザクラ	10	葉柄に蜜線
19	リョウブ	5	枝先に葉が集まる

落葉	互生	全縁	
----	----	----	--

20	カナクギノキ	7	細い倒卵形の葉
21	シロモジ	5	3つに裂けた葉
22	ミズキ	7	カーブした側脈
23	シラキ	5	葉の基部が左右不対象
24	アカメガンワ	5	茶色毛が多い。鋸齒があることもある。
25	ホオノキ	10	長さ30cmになる大きな葉

検索3

常緑	互生	鋸歯	
----	----	----	--

26	ハイノキ	3	葉先が長く伸びる
27	ヒサカキ	5	裏で細かい脈が見える
28	サザンカ	5	厚く丈夫で小さい葉
29	ヤブツバキ	7	厚く丈夫な葉。細かな鋸歯
30	ウラジログシ	20	裏が白い
31	アカガシ	20	長い葉柄。時に全縁

常緑	互生	全縁	
----	----	----	--

32	シキミ	5	ちぎると匂う。広い葉
33	サカキ	7	細長い葉。側脈見えず
34	イヌガシ	7	三主脈あり。小さめの葉
35	シロダモ	7	三主脈あり。大き目の葉

針葉樹	互生	全縁	細い葉
-----	----	----	-----

36	モミ	20	葉の先端が2つに割れる
37	イヌガヤ	10	葉の先端が一つ

検索4

ツル植物	ツルマサキ以外は落葉
------	------------

38	ツルマサキ	対生 鋸歯 厚く小さな葉
39	サルトリイバラ	互生 全縁 三主脈
40	サンカクヅル	互生 鋸歯 ブドウ科
41	ツタ	互生 鋸歯 ブドウ科
42	ツルアジサイ	対生 鋸歯
43	ツルウメモドキ	互生 鋸歯
44	サルナシ	互生 鋸歯

草本	
----	--

45	コナスビ	対生 全縁 黄色花の小さな草
46	サンショウソウ	互生 鋸歯 湿った場所に多い
47	キンチャクアオイ	互生 全縁 ハート形の葉。林内
48	ナウトウダイ	互生 全縁 細い葉
49	ツクシガシワ	互生 鋸歯 広い葉 林内

シダ植物	
------	--

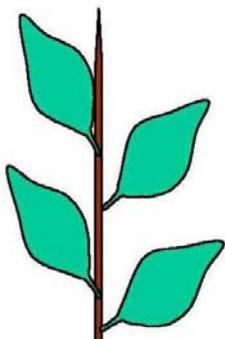
50	トウゲシバ	高さ10cmほどの直立したコケのような植物
51	シシガシラ	長さ20cmほど、1回羽状複葉
52	コバノイシカグマ	長さ30cmほどで2-3回羽状複葉、多い。

常緑樹: 一年中葉がある。葉が厚く色も濃いことが多い。

落葉樹: 冬などには葉がない。葉が薄く、色も薄いことが多い。

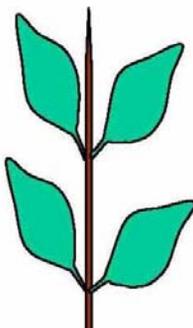
葉のつき方

互生



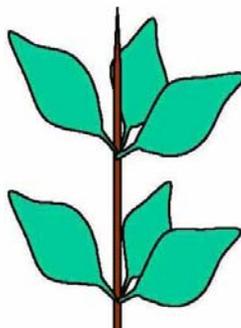
枝の1カ所に
1枚の葉

対生



枝の1カ所に
2枚の葉

輪生



(紫尾山山頂付近には
ない)

葉の縁

全縁



なめらか

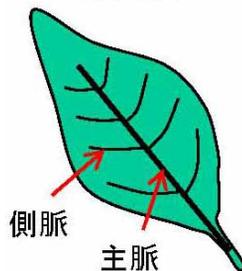
鋸歯縁



ギザギザ

葉脈

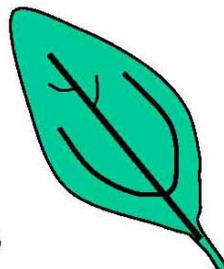
羽状脈



側脈

主脈

三主脈



1 コガクウツギ

落葉

対生

鋸齒

Hydrangea luteovenosa (アジサイ科)

[検索1へ](#)

[和名順1](#)



高さ1mほどの低木。道端に多い。
葉に少し光沢がある
春にはアジサイの様な花をつける。
夏には先端に2つの突起（花柱の跡）がある実をつけている。

落葉

対生

鋸歯

2 オトコヨウゾメ

Viburnum phlebotrichum (レンプクソウ科 旧スイカズラ科)

[検索1へ](#)

[和名順1](#)



秋に赤い実ができる (霧島)

3 コアカソ

落葉

対生

鋸歯

Boehmeria spicata (イラクサ科)

[検索1へ](#)

[和名順1](#)



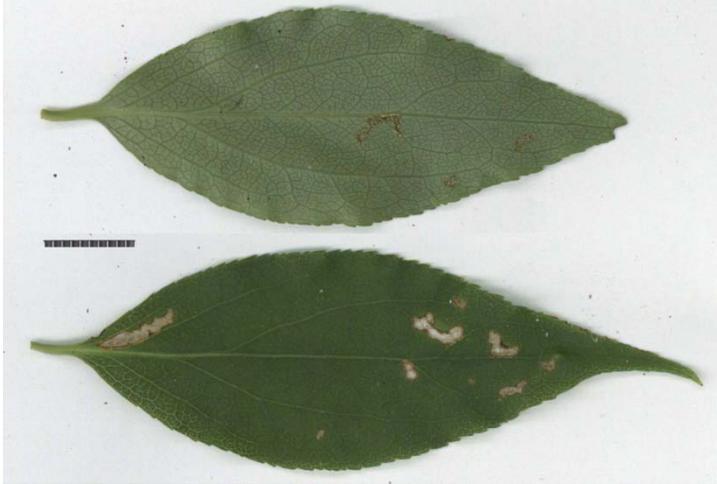
草のような小さな木。

4 マユミ

落葉	対生	鋸歯	
----	----	----	--

Euonymus sieboldianus (ニシキギ科)

[検索1へ](#) [和名順2](#)



昔この材から弓を作ったので真弓の名前がある。

落葉

対生

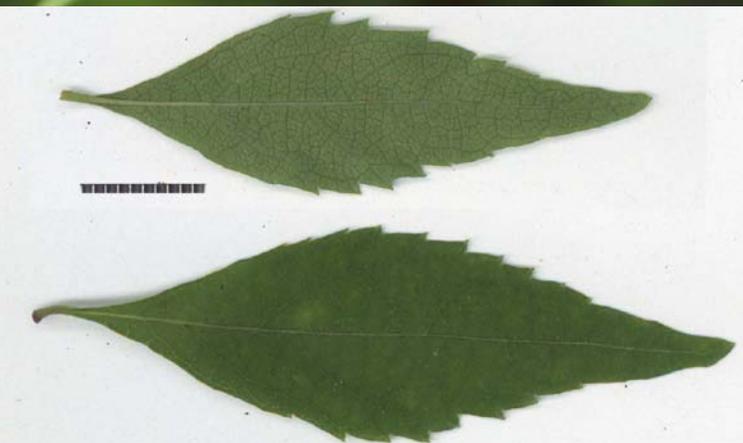
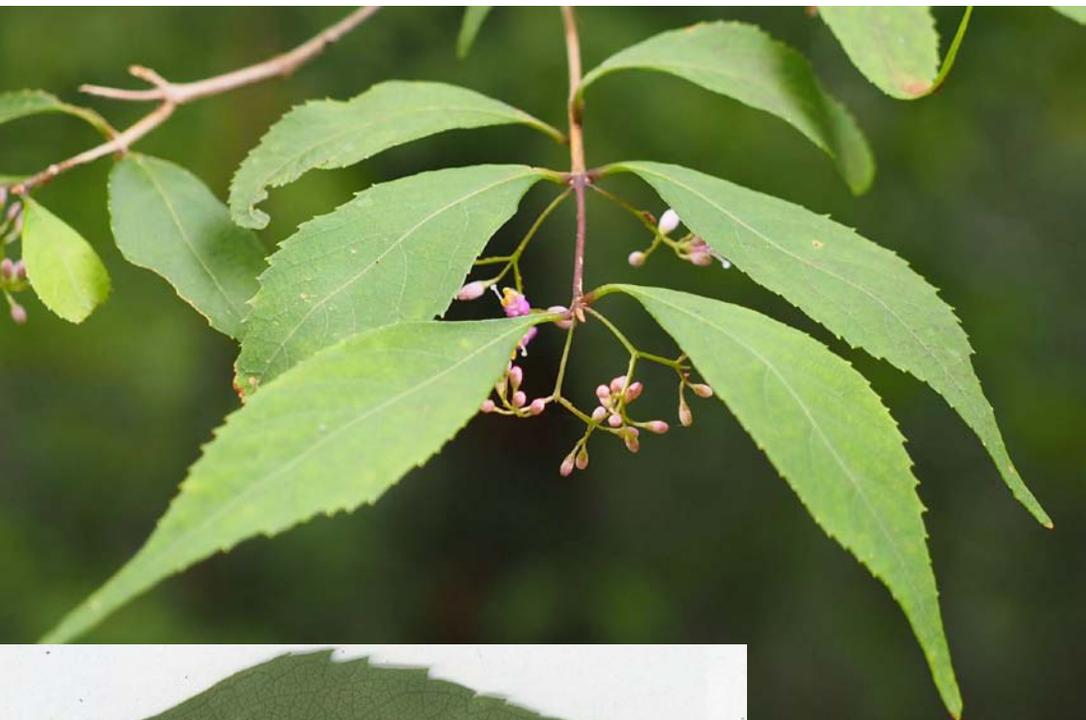
鋸歯

5 ムラサキシキブ

Callicarpa japonica (シソ科)

[検索1へ](#)

[和名順2](#)



葉や実は紫色で美しい。
紫尾山の低いところにはオオムラサキシキブなどもある



秋に実った実

6 ハマクサギ

Premna microphylla (シソ科)[検索1へ](#)[和名順2](#)

大きい鋸歯が目立つ。

落葉

対生

鋸齒

7-11裂

7コハウチワカエデ

Acer sieboldianum (ムクロジ科 旧カエデ科)

[検索1へ](#)

[和名順1](#)



霧島 高千穂山

葉が7-11裂している。葉が少し小さいイロハモミジは5-7裂



イロハモミジ コハウチワカエデ

鹿児島市

高隅山

KAG1162

KAG1282

落葉

対生

鋸齒

浅く三裂

8 ウリハダカエデ

[検索1へ](#)

[和名順1](#)

Acer rufinerve (ムクロジ科 旧カエデ科)



紫尾山山頂付近に多いカエデ
の仲間。浅く3つに裂ける

9 キガンピ

落葉

対生

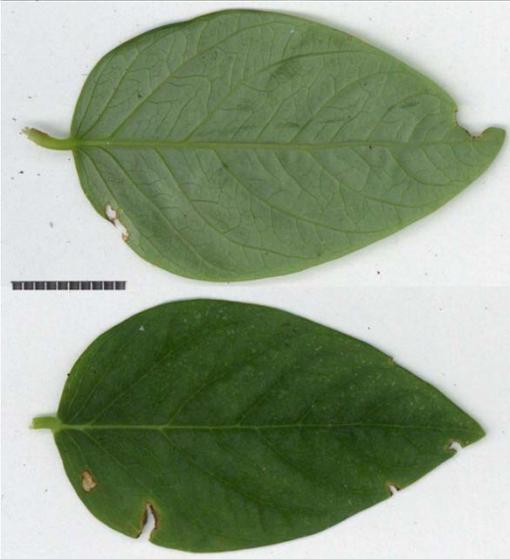
全縁

高さ約1m

Diplomorpha trichotoma (ジンチョウゲ科)

[検索1へ](#)

[和名順1](#)



高さ1mほどの低木。
樹皮が丈夫で雁皮紙の材料になる。
花が黄色いので黄雁皮

落葉

対生

全縁

カーブした脈

10 ヤマボウシ

Cornus kousa subsp. *kousa* (ミズキ科)[検索1へ](#)[和名順2](#)

6月頃に白い大きな花を咲かせる。

葉は同じ属ミズキと似たなめらかなカーブを描く葉脈を持つのが特徴。しかし、ミズキやクマノミズキのように葉柄が長くない。



落葉

互生

鋸齒

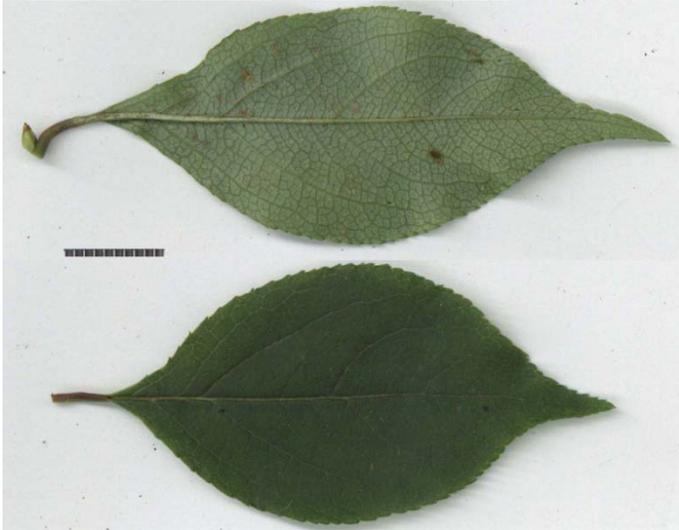
細かな鋸齒多数

11カマツカ

Pourthiaea villosa (バラ科)

[検索2へ](#)

[和名順1](#)



細かな鋸齒が多い。高さ数mの低木で、枝が丈夫なので、鎌の柄に使われるので、カマツカの名前がある。

12エゴノキ

Styrax japonica (エゴノキ科)[検索2へ](#)[和名順1](#)

樹皮が赤茶色。葉には目立たない鋸齒がある。春に白い花をつけ、夏に丸い実をつける。

花と実



屋久島

13ブナ

Fagus crenata (ブナ科)[検索2へ](#)[和名順2](#)

葉縁が波打つように(円鋸齒=crenate)になっている。
日本の冷温帯の落葉樹の優占種。大木になる。

実と殻斗(実を包む殻)
ドングリのようなだが
断面が三角形

14タンナサワフタギ

Symplocos coreana (ハイノキ科)[検索2へ](#)[和名順2](#)

鋸齒が葉先に向かって曲がっている

同じ属ノハイノキと似た花

低木層に多い。樹皮が灰色で、縦に割れ目が入って裂ける。

15アカシデ

落葉

互生

鋸齒

側脈9-15対

Carpinus laxiflora (カバノキ科)

[検索2へ](#)

[和名順1](#)



筑波山

側脈9-15対

イヌシデに似るが、葉が小さく、毛がほとんどない。

鋸齒は葉が小さい割に大きい。

紫尾山山頂付近にはあまりない。

落葉

互生

鋸齒

側脈7-15対

16イヌシデ

Carpinus tschonoskii (カバノキ科)

[検索2へ](#)

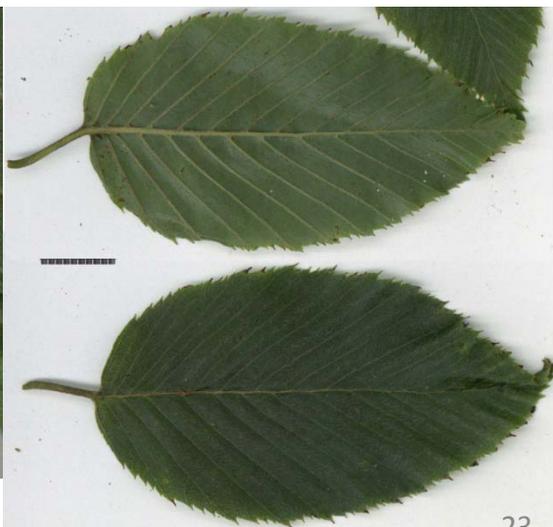
[和名順1](#)



葉に毛が多い。



果苞の片側だけ鋸齒。
(クマシデは両側に鋸齒)



落葉

互生

鋸齒

側脈20対以上

17クマシデ

Carpinus japonica (カバノキ科)

[検索2へ](#)

[和名順1](#)



側脈が20-24対と非常に多い

シデの仲間いずれも硬木になり、一部分重鋸齒になる鋭い鋸齒をもち、幹は灰色で筋があって断面が円形にならない



落葉

互生

鋸齒

葉柄に蜜腺

18ヤマザクラ

Cerasus (Prunus) jamasakura (バラ科)

[検索2へ](#)

[和名順2](#)



イヌシデなどに似た感じの葉だが
葉柄に腺点があることでサクラ属であることがわかる

落葉

互生

鋸齒

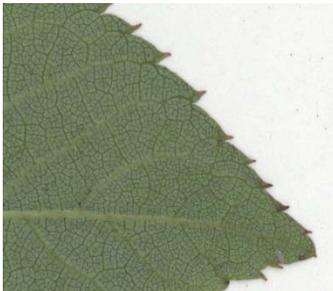
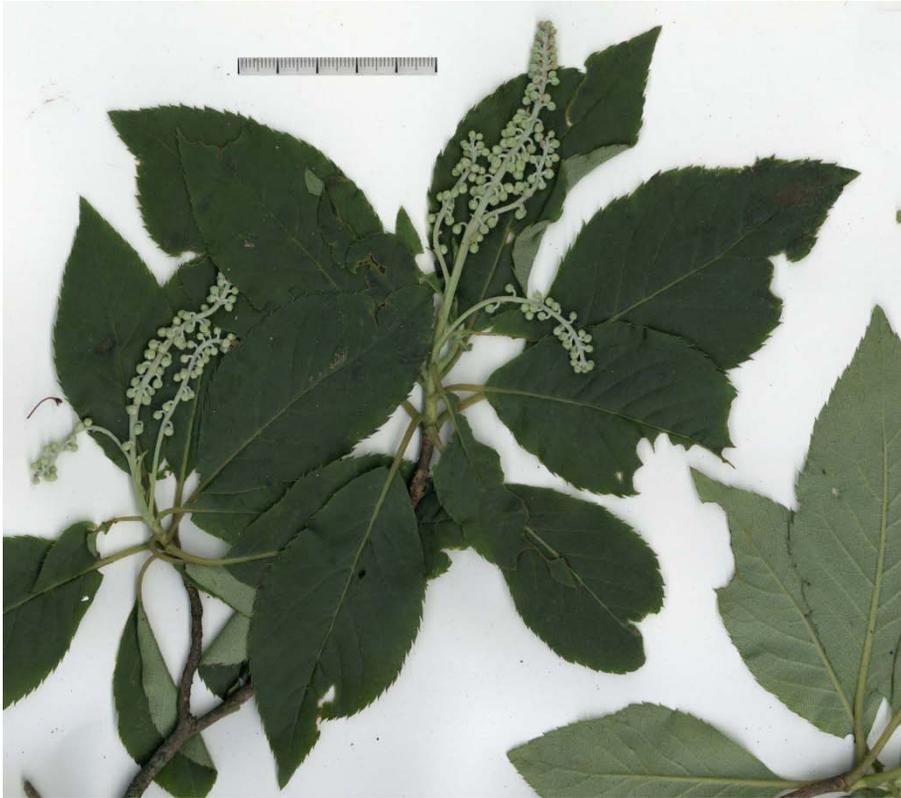
長い葉

19リヨウブ

Clethra barbinervis (リヨウブ科)

[検索2へ](#)

[和名順2](#)



20カナクギノキ

Lindera erythrocarpa (クスノキ科)

落葉

互生

全縁

細長い葉

[検索2へ](#)

[和名順1](#)



細長く柔らかい葉
枝先に葉が集まる。

21シロモジ

Lindera triloba (クスノキ科)

落葉

互生

全縁

三裂した葉

検索2へ

和名順2



学名のtriloba(3つの裂片)の示すように3つに裂けた葉形ですぐにわかる

22ミズキ

Cornus controversa (ミズキ科)

落葉

互生

全縁

カーブした脈

[検索2へ](#)

[和名順2](#)



側脈が緩やかにカーブしている
ミズキは葉が互生だが、同じような葉
で対生ならばクマノミズキで、紫尾山
には両方ある。花は2種とも似ている。

クマノミズキ(紫尾山登尾)

落葉

互生

全縁

無毛

23シラキ

Neoshirakia japonica (トウダイグサ科)[検索2へ](#)[和名順2](#)

大きく広い葉で、樹皮は白っぽい高さ数mの低木。
実は先端に花柱が残り、2又になっている。

落葉

互生

全縁/
鋸齒

有毛

24アカメガシワ

Mallotus japonicus (トウダイグサ科)[検索2へ](#)[和名順1](#)

全体に赤茶色の短い毛が多い。葉柄が長く、葉身の基部から長い葉脈が出ている。葉の基部に蜜腺があり、アリがよく集まる。

赤い新芽と、蜜腺に集まる虫(鹿児島市)

25ホオノキ

落葉

互生

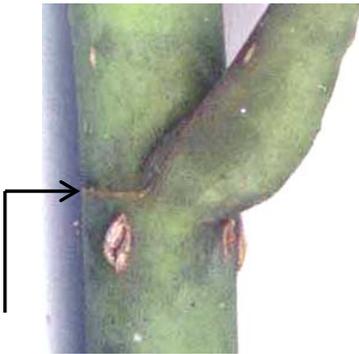
全縁

大きな葉

Magnolia obovata (モクレン科)

[検索2へ](#)

[和名順2](#)



長さ20-30cmの大きな葉がつくので
わかりやすい。葉は食べ物を包むの
に使われたり、材は下駄の歯によく
使われた。

葉柄基部の茎に横筋があるのがこの属の特徴

26ハイノキ

常緑

互生

鋸歯

葉先が長い

Symplocos myrtaea (ハイノキ科)

[検索3へ](#)

[和名順2](#)



葉は革質だがあまり光沢がない。
葉脈はほとんど見えない。
幹は茶色の低木。
標高500~1000m前後に多い。
葉の先が長く伸びている。
写真の実はまだ若く緑色だが秋には
黒く熟す
花は白



花(開聞岳)

常緑

互生

鋸齒

芽が曲がっている

27ヒサカキ

Eurya japonica (モッコク科 旧ツバキ科)

[検索3へ](#)

[和名順2](#)



葉は裏に細かな脈が見える。
芽が三日月のように曲がっている。
照葉樹林の低木として普通。

常緑

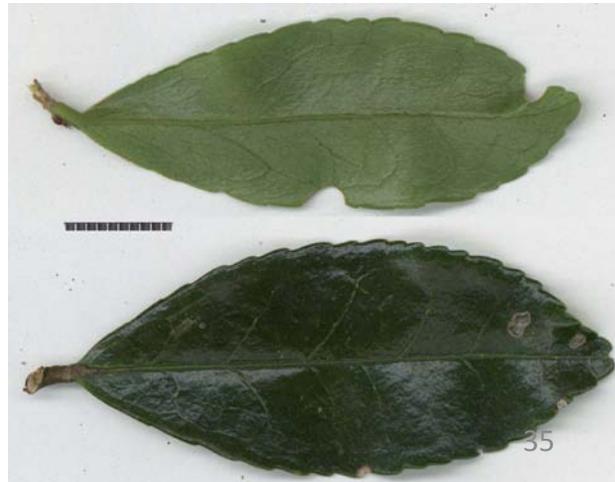
互生

鋸歯

28サザンカ

Camellia sasanqua (ツバキ科)[検索3へ](#)[和名順1](#)

サザンカとヤブツバキは同属で白っぽくすべすべした幹で、葉も似ているが、サザンカは、葉が小さく、左の写真のように枝先、芽、葉柄に短毛があるがヤブツバキは無毛



常緑

互生

鋸齒

29ヤブツバキ

Camellia japonica (ツバキ科)

[検索3へ](#)

[和名順2](#)



厚く光沢のある葉。
葉の縁全体に細かな鋸齒がある。

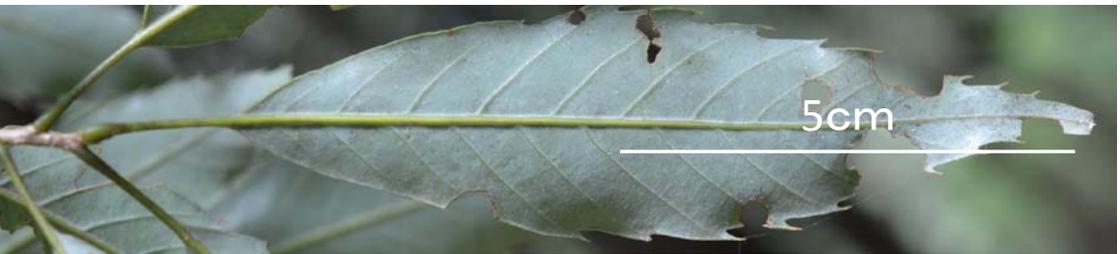
常緑	互生	鋸歯	
----	----	----	--

30 ウラジロガシ

Quercus salicina (ブナ科)

[検索3へ](#)

[和名順1](#)



葉の裏が白い。アカガシと同じく高木になる。紫尾山山頂部ではアカガシほど多くない。

常緑

互生

鋸齒/
全縁

長い葉柄

31アカガシ

Quercus acuta (ブナ科)[検索3へ](#)[和名順1](#)

革質の丈夫な葉で鋸齒が長い。鋸齒はあまり目立たず、全く鋸齒がない葉もある。高木になり照葉樹林上部の優占種。(材が赤いので、赤樫という)

32シキミ

常緑

互生

全縁

葉に匂い

Illicium anisatum (シキミ科)

[検索3へ](#)

[和名順2](#)



厚い葉でほとんど脈が見えない。
ちぎると独特な匂いがある。
仏壇に飾る

33サカキ

常緑

互生

全縁

脈が見えない

Cleyera japonica (モッコク科)

[検索3へ](#)

[和名順1](#)



革質の葉で側脈がほとんど見えない。
芽が左の写真のように長く、曲がっている
神社に飾る。

34 イヌガシ

常緑

互生

全縁

三主脈

Neolitsea aciculata (クスノキ科)

[検索3へ](#)

[和名順1](#)



屋久島



葉脈が三主脈になり、
次のシロダモに似ている
葉が小さめで裏もあまり白くない。
花は赤色で春に咲く

35シロダモ

常緑

互生

全縁

三主脈

Neolitsea sericea (クスノキ科)

[検索3へ](#)

[和名順2](#)



野間岳

イヌガシに似ているが
葉が大きめで標高が低いところに多い。

花は黄色で秋に咲く

常緑

互生

全縁

針葉樹

36モミ

Abies firma (マツ科)

検索3へ

和名順2

高木になる。
枝が対生に出
ている。
クリスマスツ
リーに使われる



葉の先端が二つに分かれている。



常緑

互生

全縁

針葉樹

37イヌガヤ

Cephalotaxus harringtonia (イヌガヤ科)

[検索3へ](#)

[和名順1](#)



モミより長い葉で、葉の先端が分かれていない。
似た種のカヤは、葉の先端が硬くて触ると痛いですが、イヌガヤは柔らかいので痛くない。

38 ツルマサキ

常緑

対生

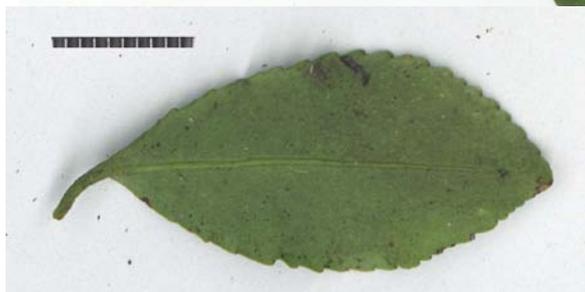
鋸歯

ツル

Euonymus fortunei (ニシキギ科)

[検索4へ](#)

[和名順2](#)



マサキの葉を小さくした感じの葉
ほかの樹木に付着して成長する。

落葉

互生

全縁

ツル

39サルトリイバラ

Smilax china (サルトリイバラ科)

[検索4へ](#)[和名順1](#)

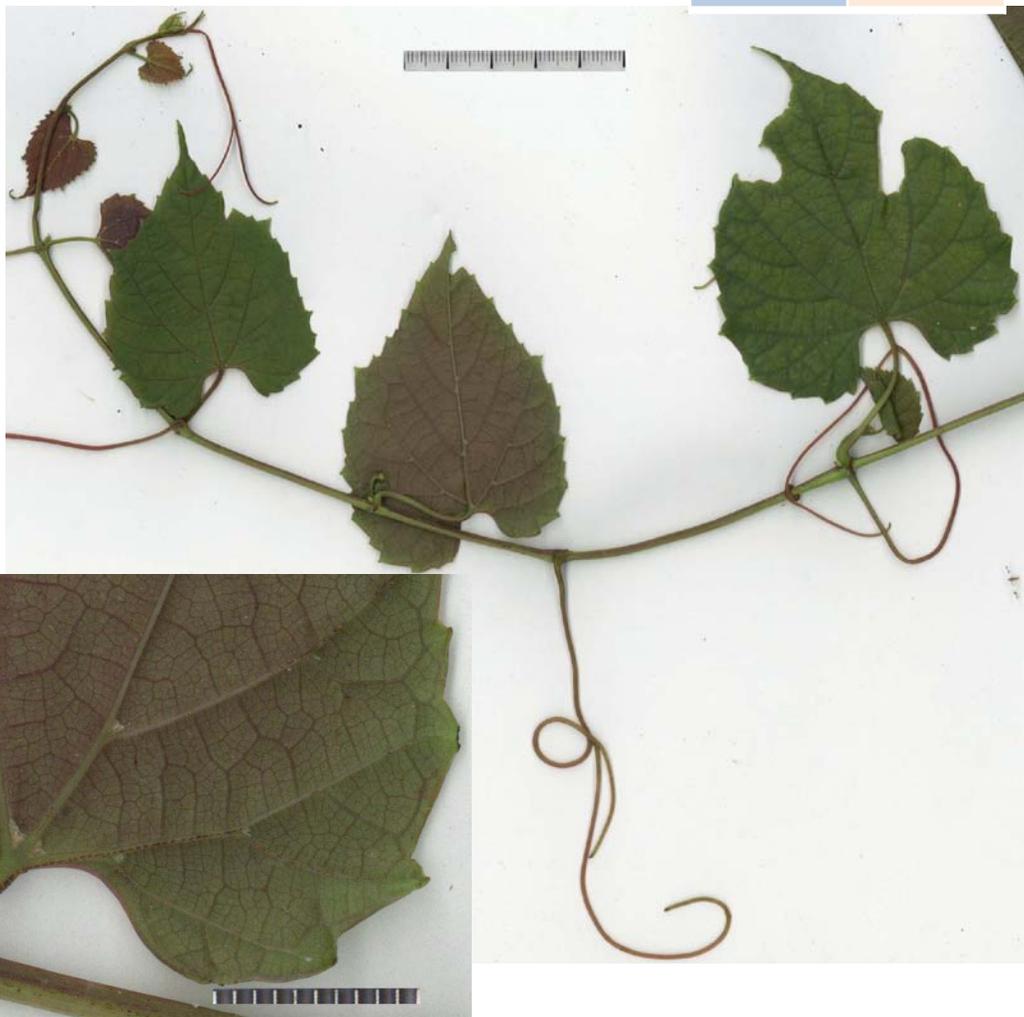
裏面は無毛。3主脈がある。

カカランダングの葉

カカラ=鹿児島弁でサルトリイバラのこと

サルトリイバラは猿も引っかかって捕まってしまふ茨の意味

40サンカクヅル

Vitis flexuosa (ブドウ科)[検索4へ](#)[和名順1](#)

裏面はほぼ無毛。下のエビヅルは毛でおおわれている。



エビヅル 大崎町

落葉

互生

鋸齒

ツル

41ツタ（ナツツタ）

Parthenocissus tricuspidata (ブドウ科)[検索4へ](#)[和名順2](#)

水俣市

葉は浅く三裂し、ウリハダカエデに似た葉だが互生のツル。レンガの建物などに這わせる植物。

若い個体は3枚に分かれた複葉になり、成熟した個体は単葉になる。
写真は、一つのツルに複葉と単葉がつながっている

落葉

対生

鋸齒

ツル

42ツルアジサイ

Hydrangea petiolaris (アジサイ科)

検索4へ

和名順2



アジサイの仲間で
ツルになる



イワガラミ
ツルアジサイに似ているが
装飾花のガクが1枚(屋久島)

43 ツルウメモドキ

Celastrus orbiculatus (ニシキギ科)[検索4へ](#)[和名順2](#)

サルナシより小さな葉で、
葉の付け根がハート形に
ならない。

紫尾山山頂付近には少ない。

落葉

互生

鋸齒

ツル

44サルナシ

Actinidia arguta (マタタビ科)[検索4へ](#)[和名順1](#)

キウイフルーツの原種に近いツルで、キウイの実を小さくしたような実ができる。紫尾山の低地には似た植物でマタタビもあるが、マタタビは、ところどころ白い葉が混ざる。

葉の付け根が少しハート型になっている。葉柄が少し赤いことが多い。

45コナスビ

Lysimachia japonica (サクラソウ科)

[検索4へ](#)

[和名順1](#)



コナスビといっても、ナス科ではなくサクラソウ科の小さな草

46 サンショウソウ

Pellionia minima (イラクサ科)

検索4へ

和名順1



湿ったところに生える小さな草。
サンショウに葉の感じが似ているのでサンショウソウという

47ヒメウワバミソウ

Elatostema japonicum (イラクサ科)

検索4へ

和名順1



サンショウソウと同じように、湿った道端の崖のようなところに生える小さな草。
サンショウソウより葉が薄く、鋸歯が大きい。

47キンチャクアオイ

Asarum hexalobum var. *perfectum* (ウマノスズクサ科)

検索4へ

和名順1



林内の小さな草。
徳川家の家紋のフタバアオイの仲間。



高さ20-30cmの草本
灯台草は江戸時代の室内で使った
灯台に形が似ていることに由来す
る名前で、本種は夏灯台。3-4個
の腺体が尖り三日月型になってい
るの、他のトウダイグサと区別する
特徴。

49ツクシガシワ

Vincetoxicum macrophyllum
(キョウチクトウ科 旧ガガイモ科)

検索4へ

和名順2



林内にある高さ2-40cmの草本。ちぎると白い樹液が出る。
紫尾山山頂付近には比較的多い。

花卉の表面に毛が多い

50トウゲシバ

Huperzia serrata (ヒカゲノカズラ科)

検索4へ

和名順2



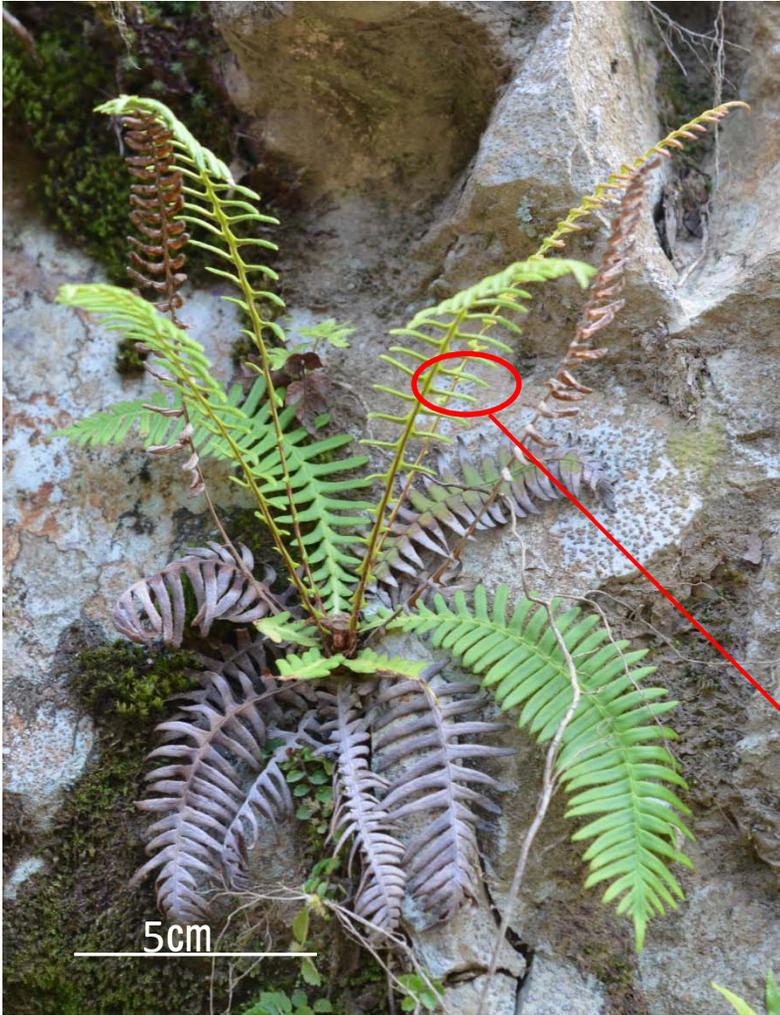
高さ10cmほどの直立したシダ。少し暗い所に多い。
茎に付着している小さな丸いものが孢子嚢。

51シシガシラ

検索4へ

和名順2

Blechnum niponicum (シシガシラ科)



脈に沿って長い
胞子囊。まだ未
熟で包膜をか
ぶっている。↓

長さ20cmほどのシダ。道端の崖のようなどころに多い。緑の葉は光合成を行い、中央の細い葉は胞子を作る。
(似た形をしたシダはないので見分けやすい)



52コバノイシカグマ

Dennstaedtia scabra (コバノイシカグマ科)

[検索4へ](#)

[和名順1](#)



明るいところに多く、鹿に食べられないためか紫尾山山頂付近に非常に多い

孢子嚢が外向きに開いたコップ状になっているのがこの属の特徴

和名順1

和名	科名	番号 学名
1 アカガシ	ブナ	31 Quercus acuta
2 アカシデ	カバノキ	15 Carpinus laxiflora
3 アカメガシワ	トウダイグサ	24 Mallotus japonicus
4 イヌガシ	クスノキ	34 Neolitsea aciculata
5 イヌガヤ	イヌガヤ	37 Cephalotaxus harringtonia
6 イヌシデ	カバノキ	16 Carpinus tschonoskii
7 ウラジロガシ	ブナ	30 Quercus salicina
8 ウリハダカエデ	ムクロジ	8 Acer rufinerve
9 エゴノキ	エゴノキ	12 Styrax japonica
10 オトコヨウゾメ	レンブクソウ	2 Viburnum phlebotrictim
11 カナクギノキ	クスノキ	20 Lindera erythrocarpa
12 カマツカ	バラ	11 Pourthiaea villosa
13 キガンピ	ジンチョウゲ	9 Diplomorpha trichotoma
14 キンチャクアオイ	ウマノスズクサ	47 Asarum hexalobum var. perfectum
15 クマシデ	カバノキ	17 Carpinus japonica
16 コアカソ	イラクサ	3 Boehmeria spicata
17 コガクウツギ	アジサイ	1 Hydrangea luteovenosa
18 コナスビ	ヤブコウジ	45 Lysimachia japonica
19 コハウチワカエデ	ムクロジ	7 Acer sieboldianum
20 コバノイシカグマ	コバノイシカグマ	52 Dennstaedtia scabra
21 サカキ	モッコク	33 Cleyera japonica
22 サザンカ	ツバキ	28 Camellia sasanqua
23 サルトリイバラ	サルトリイバラ	39 Smilax china
24 サルナシ	マタタビ	44 Actinidia arguta
25 サンカクヅル	ブドウ	40 Vitis flexuosa
26 サンショウソウ	イラクサ	46 Pellionia minima

和名順2

和名	科名	番号	学名
27 シキミ	シキミ		32 <i>Illicium anisatum</i>
28 シシガシラ	シシガシラ		51 <i>Blechnum niponicum</i>
29 シラキ	トウダイグサ		23 <i>Neoshirakia japonica</i>
30 シロダモ	クスノキ		35 <i>Neolitsea sericea</i>
31 シロモジ	クスノキ		21 <i>Lindera triloba</i>
32 タンナサワフタギ	ハイノキ		14 <i>Symplocos coreana</i>
33 ツクシガシワ	キョウチクトウ		49 <i>Vincetoxicum macrophyllum</i>
34 ツタ (ナツツタ)	ブドウ		41 <i>Parthenocissus tricuspidata</i>
35 ツルアジサイ	アジサイ		42 <i>Hydrangea petiolaris</i>
36 ツルウメモドキ	ニシキギ		43 <i>Celastrus orbiculatus</i>
37 ツルマサキ	ニシキギ		38 <i>Euonymus fortunei</i>
38 トウゲシバ	ヒカゲノカズラ		50 <i>Huperzia serrata</i>
39 ナツトウダイ	トウダイグサ		48 <i>Euphorbia sieboldiana</i>
40 ハイノキ	ハイノキ		26 <i>Symplocos myrtacea</i>
41 ハマクサギ	シソ		6 <i>Premna microphylla</i>
42 ヒサカキ	モッコク		27 <i>Eurya japonica</i>
43 ブナ	ブナ		13 <i>Fagus crenata</i>
44 ホオノキ	モクレン		25 <i>Magnolia obovata</i>
45 マユミ	ニシキギ		4 <i>Euonymus sieboldianus</i>
46 ミズキ	ミズキ		22 <i>Cornus controversa</i>
47 ムラサキシキブ	シソ		5 <i>Callicarpa japonica</i>
48 モミ	マツ		36 <i>Abies firma</i>
49 ヤブツバキ	ツバキ		29 <i>Camellia japonica</i>
50 ヤマザクラ	バラ		18 <i>Cerasus jamasakura</i>
51 ヤマボウシ	ミズキ		10 <i>Cornus kousa</i>
52 リョウブ	リョウブ		19 <i>Clethra barbinervis</i>

科名順1

科名	和名	番号	学名
1 アジサイ(ユキノシタ)	コガクウツギ	1	Hydrangea luteovenosa
2 アジサイ(ユキノシタ)	ツルアジサイ	42	Hydrangea petiolaris
3 イヌガヤ	イヌガヤ	37	Cephalotaxus harringtonia
4 イラクサ	コアカソ	3	Boehmeria spicata
5 イラクサ	サンショウソウ	46	Pellionia minima
6 ウマノズクサ	キンチャクアオイ	47	Asarum hexalobum var. perfectum
7 エゴノキ	エゴノキ	12	Styrax japonica
8 カバノキ	アカシデ	15	Carpinus laxiflora
9 カバノキ	イヌシデ	16	Carpinus tschonoskii
10 カバノキ	クマシデ	17	Carpinus japonica
11 キョウチクトウ	ツクシガシワ	49	Vincetoxicum macrophyllum
12 クスノキ	イヌガシ	34	Neolitsea aciculata
13 クスノキ	カナクギノキ	20	Lindera erythrocarpa
14 クスノキ	シロダモ	35	Neolitsea sericea
15 クスノキ	シロモジ	21	Lindera triloba
16 コバノイシカグマ	コバノイシカグマ	52	Dennstaedtia scabra
50 サクラソウ	コナスビ	45	Lysimachia japonica
17 サルトリイバラ	サルトリイバラ	39	Smilax china
18 シキミ	シキミ	32	Illicium anisatum
19 シシガシラ	シシガシラ	51	Blechnum niponicum
20 シソ(クマツヅラ)	ハマクサギ	6	Premna microphylla
21 シソ(クマツヅラ)	ムラサキシキブ	5	Callicarpa japonica
22 ジンチョウゲ	キガンピ	9	Diplomorpha trichotoma
23 ツバキ	サザンカ	28	Camellia sasanqua
24 ツバキ	ヤブツバキ	29	Camellia japonica
25 トウダイグサ	アカメガシワ	24	Mallotus japonicus
26 トウダイグサ	シラキ	23	Neoshirakia japonica
27 トウダイグサ	ナツトウダイ	48	Euphorbia sieboldiana

科名順2

	科名	和名	番号	学名
28	ニシキギ	ツルウメモドキ	43	<i>Celastrus orbiculatus</i>
29	ニシキギ	ツルマサキ	38	<i>Euonymus fortunei</i>
30	ニシキギ	マユミ	4	<i>Euonymus sieboldianus</i>
31	ハイノキ	タンナサワフタギ	14	<i>Symplocos coreana</i>
32	ハイノキ	ハイノキ	26	<i>Symplocos myrtaea</i>
33	バラ	カマツカ	11	<i>Pourthiaea villosa</i>
34	バラ	ヤマザクラ	18	<i>Cerasus jamasakura</i>
35	ヒカゲノカズラ	トウゲシバ	50	<i>Huperzia serrata</i>
36	ブドウ	サンカクヅル	40	<i>Vitis flexuosa</i>
37	ブドウ	ツタ	41	<i>Parthenocissus tricuspidata</i>
38	ブナ	アカガシ	31	<i>Quercus acuta</i>
39	ブナ	ウラジロガシ	30	<i>Quercus salicina</i>
40	ブナ	ブナ	13	<i>Fagus crenata</i>
41	マタタビ	サルナシ	44	<i>Actinidia arguta</i>
42	マツ	モミ	36	<i>Abies firma</i>
43	ミズキ	ミズキ	22	<i>Cornus controversa</i>
44	ミズキ	ヤマボウシ	10	<i>Cornus kousa</i>
45	ムクロジ(カエデ)	ウリハダカエデ	8	<i>Acer rufinerve</i>
46	ムクロジ(カエデ)	コハウチワカエデ	7	<i>Acer sieboldianum</i>
47	モクレン	ホオノキ	25	<i>Magnolia obovata</i>
48	モッコク(ツバキ)	サカキ	33	<i>Cleyera japonica</i>
49	モッコク(ツバキ)	ヒサカキ	27	<i>Eurya japonica</i>
51	リョウブ	リョウブ	19	<i>Clethra barbinervis</i>
52	レンブクソウ(スイカズラ)	オトコヨウゾメ	2	<i>Viburnum phlebotrimum</i>

この資料は、鹿児島大学総合研究博物館 主催の第16回自然体験ツアー「南限ブナ林の植物観察」ために作成されました。

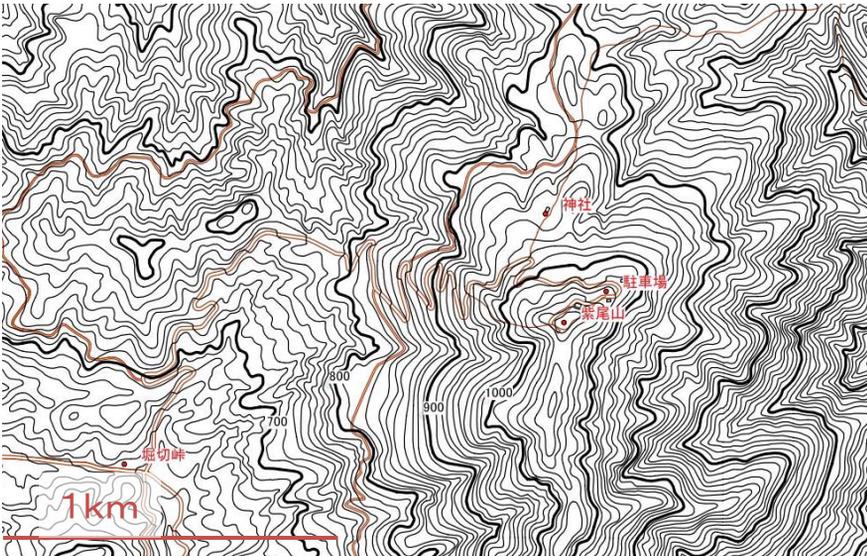
すべて鈴木英治が撮影しましたが、場所の説明がない写真は、紫尾山山頂付近の標高千m前後で撮られたものです。この図鑑は個人的に使われる場合自由にコピーしてください。ただし写真の著作権は鈴木英治にあります。写真だけ取り出して他の用途に使われる時などにはご連絡ください。

一部の植物で鹿児島大学博物館の植物標本写真を使っていますが、それらは、次のホームページから自由に見ることができます（現在29000点公開中）

http://dbs.kaum.kagoshima-u.ac.jp/musedb/s_plant/picture/KAGExplain.html

2016年7月 鈴木英治

紫尾山山頂部の地図



国土地理院基盤地図情報より